

# ローリー代替普及促進

## 運送・化学などに目的

### ジエイ・トラッド

ISOタンクコンテナを輸入販売するジエイ・トラッド（東京都中央区、北野宣幸社長）は、ローリーの代替としてISOタンクコンテナの普及拡大を図る。国内の液体バルク輸送はいぜんとしてローリーが中心だが、トラックのシャーシの経年劣化にともない継続利用するには新しいシャーシに載せ替えなければならない。ISOタンクコンテナはそうした手間やコストがかからないことから運送会社、商社、化学・石油・食品メーカーなどに売り込む。また新規市場を開拓し、新造・中古合わせて5年内に年150本の販売実績の達成を目指す。



輸入販売するISOタンクコンテナ

だが、ISOタンクコンテナはオペレーターが中心。そのためユーザーはオペレーターが中心という選択がなかったが、現在は低金利であることから長期間利用するならばリースよりも購入した方が安くなる可能性が高い。

同社はコンサルティンク業務を通じて、購入とリースでの負担差のシミュレーション、リースバックや買い取りオプション付きリースなど顧客の状況に応じた多様な方法を提案することができ

る。また、荷主との契約終了や製品そのものの輸送がなくなるリスクに対応するため、販売したISOタンクコンテナを下取るなどさまざまなアイデアで顧客の求めに応えている。

「運送会社がローリーの代わりにISOタンクコンテナを使いたいと考え、海外から購入しようとしても手続きが煩雑な

うえ、どこに売っているかさえ分からないケースが散見される。そこでユーザーの要望や採算に応じた新造および中古のI

SOタンクコンテナを海外から調達し販売するため昨年7月に当社を設立した」（北野社長）。

ローリーの場合はファイナンスリースが中心

さらに専用コンテナによるラウンド輸送も視野に第2種外航貨物利用運送事業の許可を申請中。

## ISOタンクコンテナ



北野社長